

# インド、3会合連続で利下げ

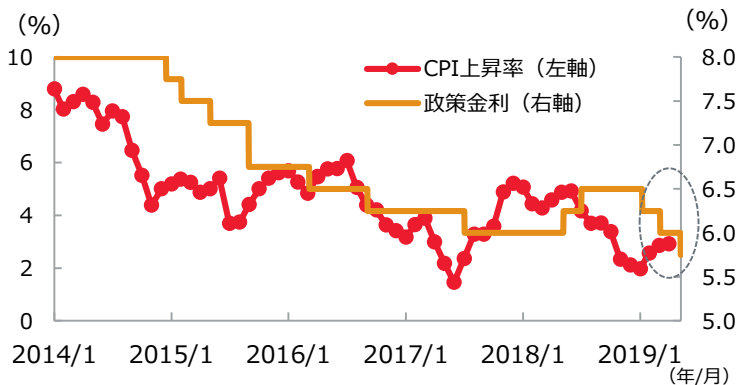
情報提供資料 2019年6月7日

6月6日、インド準備銀行（RBI、中央銀行）は、市場予想の通り、定例の金融政策決定会合において政策金利を0.25%引き下げ5.75%とすることを決定しました。今年に入って3会合（2月、4月、6月）連続での利下げとなります。また、金融政策スタンスも「中立」から「緩和的」に変更されました。金融政策の内容と、今後の見通しについてご説明します。

## ➤ 3会合連続で0.25%の利下げ

- RBIは6月3、4、6日にわたって定例の金融政策決定会合を開催し、市場の予想通り政策金利であるレポ金利を0.25%引き下げて5.75%としました。今年に入って、3会合連続の利下げとなりました。金融政策評議会の6人の委員全員が利下げを支持しました。また、政策スタンスについても、全員一致で「中立」から「緩和的」に変更されました。
- 5月末に政府統計局が発表した1-3月期の実質GDP成長率は、前年同期比+5.8%と2018年10-12月期の同+6.6%から大きく低下しました。RBIは、米中貿易戦争の激化による世界的な需要減速がインドの輸出や投資にさらに悪影響を及ぼす可能性があるとして、今後の成長率見通しを引き下げました。
- 消費者物価指数（CPI）上昇率の見通しについては、年度前半をやや引き上げ、後半を引き下げました。理由としては、最近の野菜価格の上昇が想定を上回っており、複数の食品価格が上昇していること、一方で、中期的には国内外の需要の弱さを背景に食品・燃料を除くコアインフレに下押し圧力がかかる可能性が高いことを挙げています。

【CPI上昇率と政策金利（2014年1月31日～2019年6月6日）】



※現在のインド準備銀行のCPI上昇率の中期的な目標水準は、4%±2%。  
出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。CPI上昇率は2019年4月分まで（2014年12月までは旧基準（2010年=100）、2015年1月以降は新基準（2012年=100））による統計。

## 【RBIの経済見通し】

### 実質GDP成長率（前年同期比）

	2019/20年度* 前半	2019/20年度 後半	2019/20年度
前回	6.8%～7.1%	7.3%～7.4%	7.2%
今回	<b>6.4%～6.7%</b>	<b>7.2%～7.5%</b>	<b>7.0%</b>

### CPI上昇率（前年同期比）

	2019/20年度 前半	2019/20年度 後半
前回	2.9%～3.0%	3.5%～3.8%
今回	<b>3.0%～3.1%</b>	<b>3.4%～3.7%</b>

\*2019/20年度は2019年4月～2020年3月。

出所：インド準備銀行のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

## ➤ 金融市場の反応

- 利下げが発表された6日の市場では、インドの代表的な株価指数であるSENSEX指数は前日比-1.4%となりました。株式市場は6月3日に過去最高値を更新しており、今回の利下げは織り込み済みだったと考えられます。また、トランプ米大統領による対メキシコ関税問題を懸念して、新興国株式市場全体も下落しました。
- 一方、債券市場では、10年国債利回りは前日から0.09%低下（価格は上昇）しました。緩和的金融政策スタンスへの変更で追加利下げ期待が高まりました。

## ➤ 今後の見通し

- RBIは、会合後の声明文で原油価格の変動性の高まりを指摘しました。年初から4月まで上昇傾向が続いた原油価格は、その後反落し、5月下旬以降大きく調整しています。RBIは今後、原油価格だけでなく、農作物の価格に大きく影響するモンスーン期（6～9月）の降雨量や7月5日に発表予定の今年度国家予算等を注視していくものと見られます。インフレが落ち着いた状況で推移すれば、景気支援のために年内に更なる追加利下げが行われる可能性があると考えます。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

190607 (03)